

小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。
議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。
3月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

総務

(委員)
◎植木 本取
○香本 井田
○岩石 戸

◆小美玉市長等の政治倫理に関する条例の制定

【議案第3号】

問 政治倫理審査会委員7名は適正な人数なのか。

答 龍ヶ崎市での官製談合再発防止に関しての委員会は5名で、ほかの自治体の例などを参考にし、7名以内で組織するとした。

◆小美玉市補助金等審議会設置条例の制定

【議案第5号】

問 実際に補助金を出しているが、条例制定前ほどのような審査をして、またどのような流れで団体や金額等を決めてきたのか。

答 平成20年度の審議会では、全てのものを調査した。当時は117件ほど市の監督事業があり、継続するものが60件、その他見直し・廃止等50件ほどあった。それ以降、審議会での審査ではなく、毎年の3か年実施計画や予算ヒアリングのときに確認をして、その際に見直しの事務的確認をしていた。



▲ 常任委員会での議案審査

◆小美玉市職員の倫理に関する条例の制定

【議案第4号】

問 内部通報受付窓口はどのような体制でやるのか。

答 内部通報窓口は、庁内通報窓口として人事課内に設置する通報窓口と外部通報窓口として外部の専門家をお願いする予定である。通報が入った際には調査して、小美玉市内部通報制度委員会で調査していくという流れである。

産業建設

(委員)
◎長島 津村
○長野 村
○野田 槻
○田小 川

◆畑地帯総合整備事業

【議案第14号】

問 園芸リサイクル負担金の補正額が大きい要因は。

答 この事業は平成22年から整備を進めている上小岩戸地区の畑地帯で、区画の整備は、概ね完了している。現在は第2工区幹線道路整備を実施しているが、本年度予定していた道路改良工事の用地買収が難航しているため、来年度実施することになったため本年度の事業費を減額するもの。

◆急傾斜地崩壊対策事業

【議案第14号】

問 事業実施場所と本年度予算の増額補正理由は。

答 本事業は県事業である急傾斜地崩壊対策事業の事業費を一部負担するもので、現在は高崎地内を整備している。本年度、加速化対策事業が加わったことにより整備距離が約30メートル延長することになったため、事業費を増額するもの。

文教福祉

(委員) 田村 島村 島仲
◎村島 市福 谷

◆ いじめ問題対策連絡協議会と いじめ問題専門委員会

【議案第6号】

問 条例で「いじめ問題対策連絡協議会」と「いじめ問題専門委員会」を設置できるとしているが、各々の対応と役割は。

答 対策連絡協議会では、関係行政機関からの直近の情報等の交換を行い、学校現場の校長等も参加をした上で、現状、学校における取組で課題となる部分に対する助言をいただく。専門委員会においては、いじめが起こった場合の対応など、学校事案に対する初期での対応として、必要な措置の専門的な協力を要請し、いじめ事案に対する再発防止に向け、被害児童等へのケア、加害児童等への助言、保護者への助言も含めたアドバイスをいただき、再発防止につなげていく。

◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業

【議案第14号】

問 タクシー券発行枚数と利用者はどの程度なのか。

答 初回接種では、1262人に5048枚送付、追加接種では、1154人に5308枚送付し、使用枚数は1426枚となっている。



▲ 開校前の小川北義務教育学校を視察

◆ 国民健康保険税の賦課方式の変更

【議案第12号】

問 改定により、負担が増えるという方がどの程度になるのか。

答 国民健康保険税の賦課方式の変更は、茨城県の国民健康保険運営方針により、令和4年度から保険料水準の均一化に向け、県内全市町村において3方式から2方式へ統一するもの。変更により前年度比で同じ所得と人数構成で比較すると、全世帯で53・8%の世帯が減額となり、増額となる世帯は、3万円以下の増額となる世帯が42・8%、3万円以上5万円以下の増額となる世帯が2・9%、5万円以上増額となる世帯が0・5%と試算している。

◆ 繰越明許費補正

【議案第14号】

問 土木費関係で繰り越し事業が数件あるが主な理由は。

答 国の補助事業による付帯工事の追加や、軟弱地盤解析を進める中で追加の地質調査等が必要になったこと等のほか、警察との交差点協議、田んぼのパイプラインの確認、残土撤出時期や施行時期など、地元との協議に時間を要したため事業繰越となった。



▲ ドローン映像による市道確認